

1. 目的

横手市は、平成17年の合併以降、市街地を取り巻く旧町村からのアクセシビリティの確保と、郊外部への行政サービスの円滑な提供、及び少子高齢化の急速な発展に伴う移動手段としての公共交通の維持が喫緊の課題となっている。また、日本有数の豪雪地帯であるため、公共交通の定時性、安全性確保も重要な課題となっている。

このため、現況の交通特性を把握し、多様な主体による連携を図り、ソフト、ハード両面での都市交通環境整備を進めるための総合的な都市交通戦略を策定することとした。

2. 横手市の概況

1) 地理・気候の条件

- ◆横手市は、秋田県の南東部に位置し、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた横手盆地にある。
- ◆旧横手市・旧増田町・旧平鹿町・旧雄物川町・旧大森町・旧十文字町・旧大雄村・旧山内村の1市・5町・2村が合併し、平成17年10月に誕生した。
- ◆また、横手市は、県内有数の豪雪地帯であり、市の一部は特別豪雪地域に指定されている。

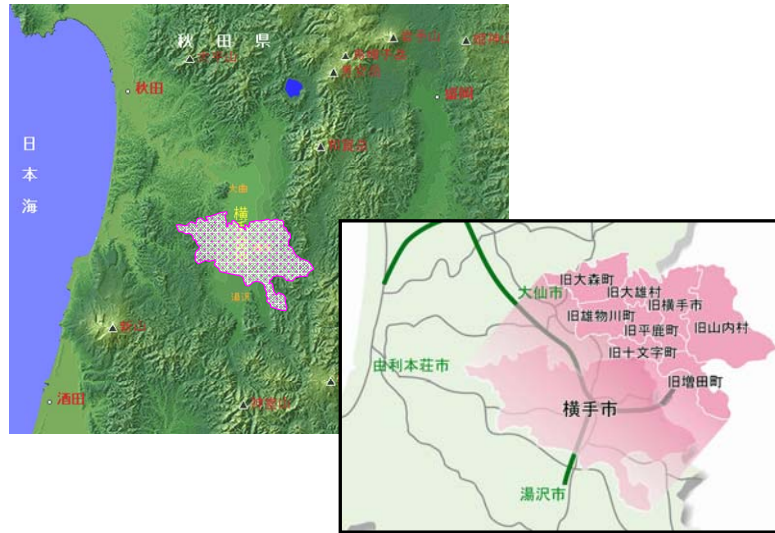


図-1 横手市概況図

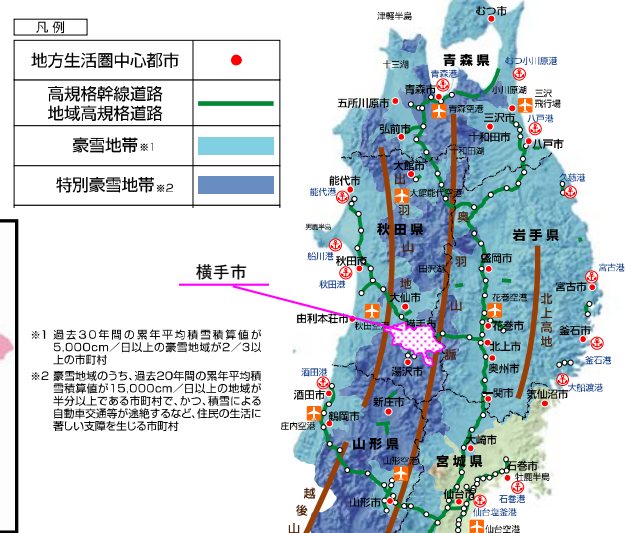


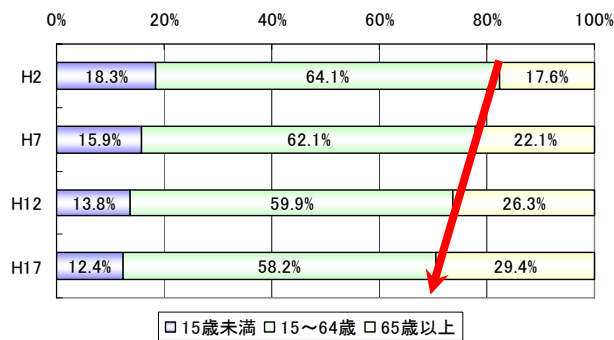
図-2 豪雪・特別豪雪地域

2) 人口

- ◆横手市の人口は減少傾向にあるとともに、65歳以上の人口の割合は高くなっている。

	H2	H7	H12	H17
市全域	115,761	112,600	109,004	103,652
横手	42,294	41,462	40,521	
増田	9,869	9,516	9,099	
平鹿	16,119	15,545	14,941	
雄物川	12,470	12,054	11,300	
大森	8,644	8,371	8,103	
十文字	14,965	14,703	14,517	
山内	5,129	4,841	4,659	
大雄	6,271	6,108	5,864	

資料：各年国勢調査



資料：各年国勢調査

3) 冬期交通状況

- ◆冬期においては、路面凍結による追突事故の多発等、交通困難がみられる。
- ◆路面凍結や積雪等により、公共交通機関の遅延が生じている。
- ◆また、積雪等により、歩行者が危険と隣り合わせになっている。

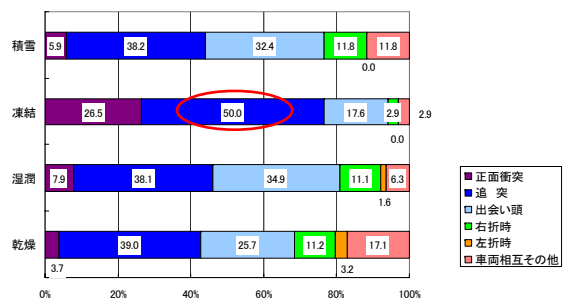


図-4 路面状況別・事故類型別シェア（車両相互）
資料：交通安全マップ（H18）



図-5 積雪等による公共交通の遅延



図-6 積雪等により危険な歩行者
資料：東北の豪雪 平成18年豪雪/記録
国土交通省東北地方整備局

4) 公共交通の利用状況

- ◆バスの利用者数、鉄道乗降客数ともに減少傾向にある。

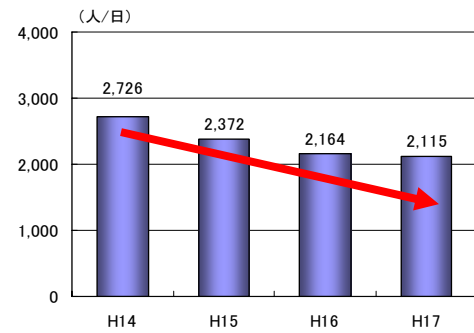


図-7 減少するバス利用者数 資料：羽後交通(株)

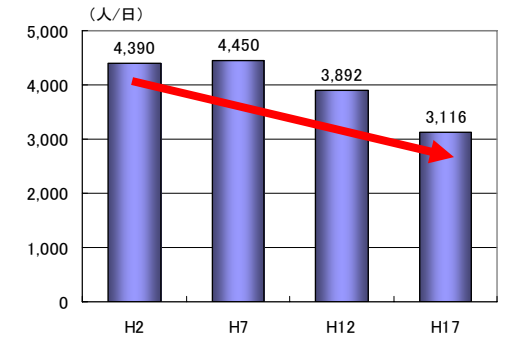


図-8 減少する乗降客数（横手駅）

資料：都市計画年報

5) 道路・交通現況からみた問題箇所等

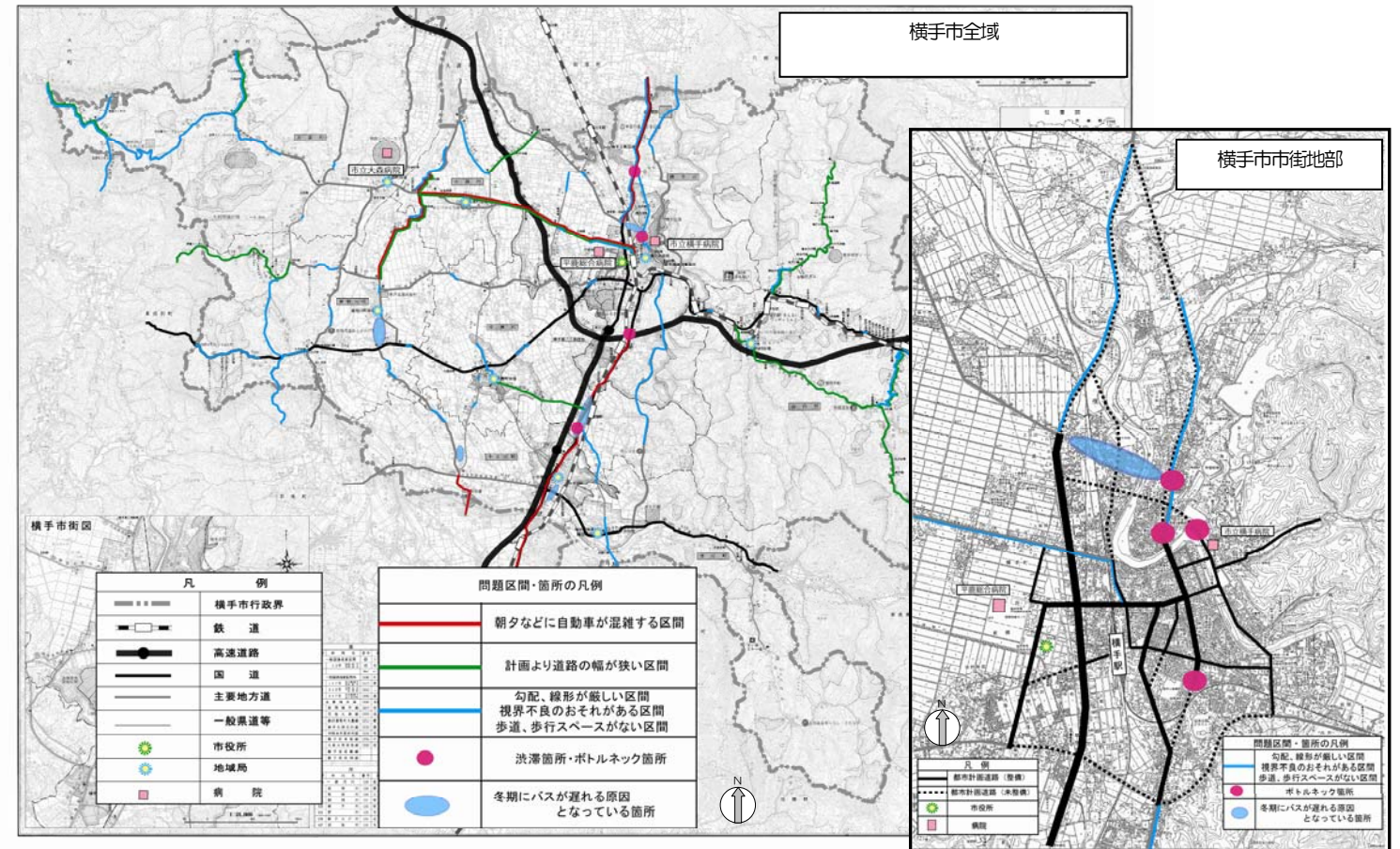


図-9 道路・交通現況からみた問題箇所

6) 現況の問題・課題の整理

現況	問題	まちづくりの理念	交通政策で対応すべき課題
<ul style="list-style-type: none"> ○市町村合併 ○都市計画道路整備の遅れ ○公共交通の衰退 ○横手地域への医療・商業の依存 ○マイカーへの依存 ○高い高齢化率 ○高齢者の事故多発 ○秋～冬に多い事故 ○冬の積雪による公共交通の遅延 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの旧市町村が交通政策、道路整備を行ってきたため、各地域間の連携が不十分 ○高齢者等の交通弱者にとっては厳しい交通環境 ○冬期交通の定時性確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然と調和したまちづくり ○多様性に富むいきいきとした地域が相互に連携するまちづくり ○にぎわいと活力があるまちづくり ○生涯安心して住み続けられるまちづくり ○市民とともにつくるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○各地域間の連携強化を図る ○高齢者等の交通弱者に優しい交通環境づくりを図る ○冬期交通の定時性の確保を図る ○交通施設の整備等により中心市街地の活性化を支援する